

「知識は経験を補う」

—現役ウエディングプランナーの実務のための資格認定

2006年の設立以来、会場所属のウエディングプランナーの教育と、フリーランスウエディングプランナーの育成という両輪で、プランナーのレベルアップを図っているIWPA国際ウエディングプランナー協会。今注目されている協会認定資格の意義について、伊藤副代表に伺った。

決定率と販売力に直結する「英国資格」

▶英國の公的資格の認定機関として認可されているそうですね。

当協会の代表である谷藤進は、もともと「全米ブライダルコンサルタント協会(ABC協会)」の関東代表を務めていたのですが、2006年にABC協会を離れ、当時英国にあったIWPA UKの姉妹協会としてIWPA JAPANを設立しました。そして、IWPA UKが英国で行なっていたウエディングプランナーの教育課程を導入し、資格認定を始めたのです。その後、IWPA JAPAN自体が、英国の公的認定機関からライセンスセンターとして認定されましたので、独自に英国国家認定の公的資格を発行できるようになりました。

▶「IWPA英国国家認定EDIウエディングプランナー資格(英国資格)」は、英国のウエディングに関する内容だそうですが、日本のウエディングプランナーが、英国の資格を取得することに意味があるのでしょうか?

この資格は、試験による合否制ではなく、英国の資格認定機関によって受講が義務付けられていますが、その内容は、日本の現在のウエディングで行なわれているさまざまな儀式や慣習の本来の意味や由来を学ぶものです。われわれは、この資格を、日本で数年お仕事をしている現役プランナーの方にこそ取得していただきたい

きたいと考えているのですが、豊富な蘊蓄を知り自信を持ってお客様にお話できるようになることで、決定率や販売力が飛躍的に上がります。われわれは、全国各地のホテルや式場のコンサルティングを行なっており、その際に、人材教育の一環としてこの資格を取得していただくのですが、会場全体の決定率が10ポイント以上も上がったという実績があります。

業務の効率化とコンプレ防止「日本資格」

▶もう一つの資格である「IWPAウエディングプランナー日本資格」は、日本のウエディングに関する内容ですね。

この資格の標準テキストである「THE BIBLE OF WEDDING」は、ホテルにおける婚礼担当者の実務内容を基にした約280ページのプロ向けのマニュアルで、あくまでも、現場で必要な実践的知識を論理的に解説したものです。当協会のサイトで販売しているのですが、現役のプランナーさんにもよくご購入いただいている。この資格は、正しい知識を論理的に身につけることで、日常業務を円滑に行ない、業務を効率化することとコンプレインを防止することで、楽しく充実したお仕事をしていただくことを目的としています。現在は勤続年数の短いプランナーさんが増えていますが、知識があれば、経験の不足をかなりの割合でカバーすることができるのです。



IWPA国際ウエディングプランナー協会(IWPA)
副代表 伊藤公子

東京都港区港南2-16-8 ストーリア品川2201
TEL: 03-6712-8555
URL: <http://www.iwpa-japan.org>

ウエディングプランナーの新しい働き方

▶IWPAは、フリーランスウエディングプランナーの全国組織を運営していますね。

IWPAの最上位資格である「IWPA認定ウエディングコンサルタント」資格を取得した方たちが、会場を退職した後、日本全国でフリーランスウエディングプランナーとして活躍し始めており、この方たちのビジネスのサポートをさまざまな形で行なっています。

フリーランスは、ウエディングプランナーとして長く仕事を続けていくための選択肢の一つと成り得、特に女性にとっては、結婚や出産を経ても、家庭と両立しながら一生続けていく新しいキャリアプランとして、大変魅力的だと思います。IWPAとしては、キャリアの各ステージに応じて、資格を計画的に取得しながらスキルを伸ばし、長いスパンでプランナーという仕事を考えることのできる形を提案ていきたいと考えています。